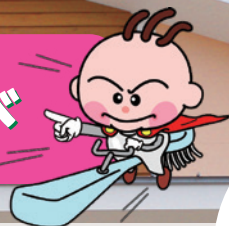


今回の
テーマ

子どもの歯ならび



正常咬合

鹿児島県における3歳児の不正咬合(悪い歯ならび)は**13.1%**(平成26年度)で、全国平均の**10.8%**と比較して、少し多いようです。では、どのような歯ならびが良くて、どのような歯ならびが悪いのでしょうか。日本小児歯科学会のホームページ

[<http://www.jspd.or.jp/contents/common/pdf/main/hanteikijun2015.pdf>]に、下の写真のよう
いろいろな歯ならびについて詳しく説明してあります。

子どもさんの歯ならびと比較してみてください。



▲過蓋咬合



▲叢生



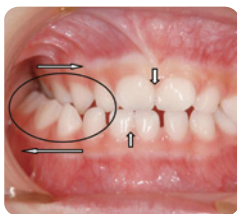
▲上顎前突



▲開咬



▲叢生



▲交叉咬合

中でも反対咬合は早期から対応した方がよい歯ならびです。その理由は、**上顎の成長が早く終わるため、反対咬合の状態を早く改善する必要があるから**です。



反対咬合



近年では、ムーシールドなどのプレートをお口に入れて反対咬合を改善する方法がよく行われています。気になれる方は専門の歯科医院にご相談してみてください。



ママの声 リスク検査を受診しました!

子どもが年長さんになり、歯磨きを自分でサッと行ってしまふことが悩み、また、ポカンと口が開いていることも気になっていました。



歯科衛生士さんに相談したところ、唾液の抵抗力は人それぞれで、**食生活と菌の強さによって虫歯のなりやすさが決まるのだそう。**

そこで、「**歯のリスク検査**」をしていただくことに。

食生活に関するアンケートと、ガムを噛んでの唾液採取をして結果を待ちました。結果は説明どおり、一緒に生活していても、虫歯になりやすい子とそうでない子がいて、それぞれ虫歯への抵抗力も違うということがよくわ



かりました。個性と同じように理解し、生活していくことで防いであげられる事もあるのだと勉強になりました。また**食事の間隔をあける、仕上げ磨きは目安として小3まで、フロス(糸ようじ)を使用する、定期検診を受ける**ことなど、親として子供の歯を守ってあげる取り組みも指導していただきました。何より嬉しかったのは、歯科衛生士さんが子どもでも理解できるようにわかるまで説明してくれたことです。

なぜ、歯を磨かなければならないのか **虫歯になるとは、どういう状態なのか**
歯を磨かなければ、どうなるのか **どうすれば、虫歯にならずに済むのか**

丁寧な説明のおかげで、子どもも納得して「**しっかり磨く**」という意識を持ったようです。リスク検査をきっかけに、歯磨きについて親子で話すことも多くなり、仕上げ磨きの時間は、ちょっとした親子のコミュニケーションタイム。虫歯をつくらぬ習慣を親子で**楽しく取り組んでいきたい**と思います。



「怖くない」、「また行きたくなる」歯医者さん 医療法人 おく小児矯正歯科

〒890-0034 鹿児島市田上5丁目4番27号 「田上寺の下」バス停より徒歩1分

受付 9:00~13:00 / 15:00~19:00 (土曜日は18:00まで)

休診 木・日・祝祭日 ご予約・お問合せ **099-214-6471**



<http://www.dentaman.com>

おく小児矯正歯科

